

# 大管協情報

2025(令和7)年 5月号  
大阪府公立学校管理職員協議会  
〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町7-11  
大阪府教育会館4F 406号  
TEL06-6765-1241 FAX06-6765-1353

## 第52回定期大会成功！ 新役員承認される！

第52回定期大会は、5月24日(土)14時から大阪府教育会館で開催された。大会は1,000名(委任状を含む)を優に超えて成立した。議長団が選出され、第1号議案から第11号議案の全てが圧倒的多数で承認された。第5号議案「令和7年度役員選出に関する件」は、選挙管理委員長のもと選挙行事が進められ、立候補者全員が承認された。また、第11号議案「大会スローガン」は下記の通り承認された。

- 1.人間尊重の精神を基盤に、教育改革を推進し、大阪の教育力向上に努めよう。
- 2.公教育の水準を高めるため、教育諸条件の整備改善に努めよう。
- 3.校長・副校長・教頭の職責に見合う処遇の改善と身分の確立に努めよう。
- 4.「学校の働き方改革」を教育管理職員の立場で進めよう。
- 5.大管協結成の原点を踏まえ、教育管理職員を支え合う力と組織力を強化する活動に努めよう。
- 6.組織率は力である。さらに支援・信頼の輪を広げ、会員数の拡大を進めよう。

◎教育管理職員の職務は、広範囲で重い。大管協は、管理職員が安心して職務に専念できるように更に支援していきます。

### 大管協への貢献会員に功労賞贈呈

大会において、支部長・本部役員としてご尽力いただいた次の方々に、功労賞を贈呈しました。

- ・茨木市 磯村 昌宏 様 支部長7年
- ・門真市 藤本 幸二 様 支部長6年
- ・東大阪市 辻 秀明 様 副会長3年
- ・河内長野市 北野 良和 様 支部長6年
- ・堺市 天野 茂 様 支部長3年

🌸長年のご貢献に心より感謝いたします。



### ご臨席・祝辞を頂戴した来賓の皆様

自由民主党	参議院議員	青山 繁晴 様
公明党	衆議院議員	浮島 とも子 様
公明党	参議院議員	石川 博崇 様
立憲民主党	衆議院議員	森山 浩行 様
立憲民主党	衆議院議員	尾辻 かな子 様
大阪維新の会	府議会議員	前田 洋輔 様
大阪維新の会	府議会議員	杉江 ゆうすけ様
公明党	府議会議員	藤村 昌隆 様
自由民主党	府議会議員	杉本 太平 様
立憲民主党	府議会議員	野々上 愛 様
全国教育管理職員団体協議会	会長	富嶋 修 様
東京都教育管理職員協議会	会長	渋谷 英一 様
徳島県小中学校管理職員協議会	会長	黒田 博章 様
長野県校長教頭組合	執行委員長	松原 裕二 様
大阪府中学校長会	会長	高橋 哲也 様
大阪府教職員組合	中央執行委員長	百濟 喜之 様
大阪府教職員互助組合	理事長	後藤 なつき 様
教育公務員弘済会 大阪支部	専任理事	池田 知之 様
大阪府公立学校管理職員協議会	顧問弁護士	近藤 行弘 様

# 活動方針の主要事項

「教育は人なり」と言われるが、学校教育の成否は教員にかかっていると言っても過言ではない。教職は児童生徒の人生に大きな影響を与え、かつ成長を直接感じ取れる素晴らしい職業である。「教職の魅力の再生」と教育管理職員の重責に見合う処遇改善を求めていく。

- ◆給与に関し、人事院は給与の官民比較対象の見直しを行った。これまでの従業員50人以上としていたものを100人以上にすべきとした。大阪府人事委員会においても勧告に反映するよう強く要望する。
- ◆現状の定年引上げ後の現役校長の処遇では、勤労意欲が削がれ、優秀な人材流出が危惧される。意欲をもって職務に専念できる処遇とすること。
- ◆府内全域での「暫定再任用」を進めること。
- ◆神奈川・東京・千葉にならい義務制と高校の給料表を一本化し、且つ6級制を導入すべし。
- ◆教職調整額の引上げに伴い、逆転現象が生じないように管理職手当の増額をするとともに、国が予算措置をしている4級・3級の本給アップを確実に行うこと。
- ◆役職段階別加算を一律で校長20%、教頭15%とすること。
- ◆行政職と同様に管理職員加算制度を設け、一時金の算定基礎に繰り入れること。
- ◆教員業務支援員等外部人材の拡充を求める。
- ◆学習支援員の義務教育への配置の実現。
- ◆「行政による対応窓口の設置」の拡大、および学校を守る「カスハラ対策」を他都県で実施しているが大阪でも速やかに行うこと。
- ◆「副校長・教頭マネジメント支援員」の配置を拡充すること。
- ◆大阪府の教員不足解消と「質」の向上のため、奨学金の返還減免を実施すること。
- ◆管理職の負担が大きい教職員の勤務時間管理を、合理的で簡便なものとする。
- ◆「教員免許更新制」の発展的解消に伴う研修に関して、指導助言など管理職業務の負担軽減を図ること。
- ◆「評価育成システム」を、教育職の特性に配慮した柔軟な運用とすること。
- ◆顧問弁護士の活用を促進し、法的支援を進め裁判支援制度等、救援制度の充実に努めていく。
- ◆組織拡大に努め、他団体と連携していく。

◎会員の皆様からのご意見を集約して、要望・要求にまとめて府教委、各会派と交渉・提言していきます。

## 2025(令和7)年度 新役員

役職	氏名	ブロック	所属	職名
会長	*中北義久	豊能	大管協事務局 (元豊中:小・中)	専従
副会長	*富嶋修	全管協	全国教育管理職員 団体協議会担当	専従
	*中曾一彦	泉北	堺市立 ・津久野中学校	校長
	*栗山温	中河内	八尾市立 ・大正中学校	校長
	森田直樹	三島	吹田市立 ・豊津西中学校	校長
	齋藤慶二	大阪市	大阪市立 ・茨田中学校	校長
幹事長	*北本義章	大阪市	大阪市立 ・松虫中学校	校長
副幹事長	*中司正博	北河内	守口市立 ・さつき学園	校長
	大橋敏宏	泉北	和泉市立 ・北池田中学校	校長
	上阪和功	泉南	貝塚市立 ・津田小学校	校長
幹事	高橋宏紀	中河内	東大阪市立 ・英田中学校	校長
	坂本由美	南河内	河内長野市立 ・千代田中学校	校長
	柴田直樹	北河内	寝屋川市立 ・南小学校	校長
	能塚三代子	豊能	池田市立 ・緑丘小学校	校長
	西川潤	南河内	富田林市立 ・久野喜台小学校	校長
会計委員	濱田知成	三島	高槻市立 ・第六中学校	校長
	田中真樹	泉南	阪南市立 ・西鳥取小学校	校長
会計監査	原稔	大阪市	大阪市立 ・今市中学校	校長
	楠浩子	南河内	富田林市立 ・喜志西小学校	校長
事務局長	羽入康晴	大阪市	事務局 全管協 会計監査	
筆頭顧問	青木修一	箕面市	事務局	

### 教員採用選考に係る共同実施

教員採用選考に係る第一次選考の共同実施について、文部科学省より実施(案)が出された。

1. 教員採用選考問題を複数の自治体が共同して作成することにより、試験内容の質の向上と負担軽減を図るものである。
2. 第二次選考において、人物重視の丁寧な選考が可能になる。
3. 教員採用に係る作業の合理化により、学校現場への支援に注力できる。
4. 受験者数の増加、試験実施・運営に係る経費削減の効果が期待できる。

※令和10年度教員採用選考(令和9年度実施)からの開始を目指す。その実施状況を踏まえ、将来的に全国統一試験方式へ移行していく方向だ。